



第14期(2019年12月度)事業報告
2019年1月1日から2019年12月31日まで

特定非営利活動法人 五環生活

1. 事業の成果

概要

第14期(2019年12月度)は、自主事業で1拠点、委託事業では2拠点の運営体制を敷き、第13期(2018年12月度)と同様事業の安定化を図った。また、第14期事業計画に基づいて、次の通り取り組んだ。

1) 自転車タクシー事業

第12期に事業休止となり、車体の譲渡を検討したが、譲り先が見つからなかった。車体が場所をとるため、解体処分することになった。

2) レンタサイクル運営事業

「びわこ一周レンタサイクル」では、2019年10月1日の消費増税の機に料金改定を行った結果、貸出台数としては前期比マイナス132台であったにもかかわらず、売上は6,207円増の横ばいに留める効果を奏した。貸出台数は6月以降軒並み前年を下回り、11月のみ前年と同数に回復。11月を除いては、不運にも週末や連休に雨や台風が重なることが多く利用台数が伸びなかった。

- ・個人利用者が天候理由で安易にキャンセルしてくるなか、団体による大口予約が約束されているのは大きな安心感であった。ドイツの旅行会社JFToursから2019年は各回10-17台の計7回の利用があった他、滋賀県のALT(外国語指導助手)グループや石川県の学園施設による恒例利用もあった。

- ・ラグビーワールドカップ2019開催に合わせ訪日した外国人観光客の利用があり、これまで聞くことのなかった国にも情報が渡る契機にもなった。こうした国際的なイベントの情報を掴み話題とすることで、利用促進にもつながる可能性を見出し、2020年東京オリンピックへの期待を抱いた。

- ・米原市役所新庁舎工事開始に伴い、自転車倉庫を移設させた。移設先の土地は近江鉄道所有であり、米原市と近江鉄道が土地賃貸借契約書を結び、五環生活は転借人として賃料を支払って使用している。場所は米原駅駅舎により近くなり、運営上の利便性は高まった。

3) サイクルイベント事業

びわ湖一周ロングライド2019にはメカニックとして同行しイベントサポートを行った。また、複数の民間業者から依頼を受け、1泊2日から2泊3日のビワイチサイクリングツアーを5回行った。

4) コンサルタント事業

前期に引き続き、滋賀プラス・サイクル推進協議会などでの自転車走行環境整備に向けた協議会の運営に携わった。

自転車安心安全利用促進事業では、滋賀県交通戦略課と協力し、大津ecoフェスタ、交通安全フェアに出展した。大津ecoフェスタでは新型の自転車発電キットの不具合が発覚し、イベント中に修理を行うトラブルが発生した。交通安全フェアは台風によりイベントが中止となった。

11月に希望ヶ丘文化公園にて開催された「ビワイチプラス応援イベント」において、大阪京都を中心に活動する一般社団法人市民自転車学校プロジェクトを講師に迎え、自転車教室および指導者講習会を実施した。甲賀市と大津市の団体から依頼を受け、タンデムパイロットを派遣し、タンデム自転車体験会を実施した。

インバウンド向け自転車安全利用促進PV作成事業については、2019年4月に納品した。

サイクリングイベントの受託事業では、米原市全域を対象とした『びわ湖の素・米原』グルメライドを定員枠500名で募集したが、当初申込状況が芳しくなかったため、急ぎよ過去2年間の参加申込者にDMにて案内を送付した。合わせて、申込締切を延期したことによって、400名に近い申込者数があった。

当日は、大きな事故もなくイベントを終了することができた。アンケートを見る限りでは、満足度の高いイベントであったことが伺える。運営側の反省点としては、事前送付物の発送が遅れたことにより、急ぎよ一部資料をメール送信する必要が出てきて、その際に個人情報を出し過ぎてしまうミスがあったり、印刷物に汚れを発生させてしまう不手際があったことがあげられる。合わせて、実行委員会内での不協和音等があり、2020年度の実施は見送りとなった。

米原市内をエリアとした小規模サイクリングツアー実施の受託事業では、2018年度を通して「米原サイクルアドベンチャー」を実施し、2019年2月には「雪の中でMTBチャレンジ！」を企画したが、雪不足につき不催行となった。

彦根市からの受託事業である「彦根市レンタサイクルめぐりんこ」では、アルプラザ彦根と京橋口駐車場内休憩所、河瀬駅前西口駐輪場の3ヶ所での貸出を行った。

2019年8月の台風10号をきっかけに、受託運営における荒天時の勤務態勢の見直し・確認が行われ、スタッフへも周知した。また、平常時における職員のスタッフへのフォロー体制も見直され、スタッフの勤務環境改善に努めた。電動アシスト付き自転車のバッテリー老朽化による前期から続く苦情問題を解消するため、新品バッテリー購入の予算を確保した。

また、湖東路観光協議会より受託した湖東圏域のサイクリングツアーは、前期からの継続事業として半日のツアー実施した。内容は前期と同様で、「体験」をメインに地域資源を活用することを趣旨としたツアーは、協議会事務局に好評であった。しかしながら、広報での力不足があり、一般申込は低迷していたことから、サイクリングツアーとしては成果は出なかった。

米原市からの受託事業である水の里の旅サイクリングツアー事業は、2019年3月3日および3月4日に実施し、参加者から好評いただき、無事に終えることができた。

5) 五環カフェ企画運営・ワークショップ運営事業

例年県立視覚障害者センターと協力し実施しているまっくらカフェは、出店先のひこね人権のまちづくりフェスタが開催されなかったことで今期は未催行である。

6) 五環普及啓発事業

五環普及啓発事業では、びわこ一周レンタサイクルHPやSNS、五環情報ブログ、五環生活HP、Facebookページ&Instagramページ&twitterページ更新による広報活動を行った。

特に、びわこ一周レンタサイクルでは、一昨年受賞したココクルのPR動画への出演のほか、TV番組や雑誌等の収録・取材にも対応し、関西テレビやjapantravel.com(インバウンド向けPR動画)等多数のメディアに取り上げられた。

7) その他

総務では、職員の勤務体制の改善および作業分担の円滑化のため、職員の補助作業を行うスタッフとしてアルバイト1名を雇用し、主に米原駅サイクルステーションに勤務させた。これにより、職員間の作業分担を進めることが出来た。また、勤務年数が長く経験値の高いパートタイマー2名に一部の管理役割を委任したことで、全体の管理面の効率化と改善を図った。



2. 特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事 の 人数	受益対象者の範囲及 び人数	収入額 (千円)
自転車タクシー運 営事業	事業休止	休止		0名	通常運行: 0名	0
レンタサイクル運 営事業	びわこ一周レンタサイクルは、大口貸出需要の積極対応、料金改定に伴う諸更新。FUNRID Eの実施による事業PRおよびファン獲得。	通年	県内 湖岸沿いを 中心とする 地域	4名	びわこ一周レンタサイ クル利用: 2,516台 ファンライド: 10名	18,969
サイクルイベント 運営事業	びわ湖一周や地域をガイド付 きで走行するサイクリングツアー の醸成、実施。	通年	県内	3名	サイクリングツアー 29名	2,237
コンサルタント事 業	自転車や公共交通を中心とし た、地域づくりに関する受託事 業。 地域をガイド付きで走行する サイクリングツアーの醸成、実 施。 彦根市レンタサイクルは老朽化 したバッテリーなどの装備品を 一新したことで満足度向上をは かった。	通年	県内	2名	その他: 不特定多数 サイクリングツアー 10名 サイクリングイベント 申込291名 参加265名 彦根市レンタサイクル 利用: 駅前1,856名 京橋405名 合計2,261名	14,416
五環カフェ企画運 営事業・ワークショ ップ運営事業	五環生活のリソースを活用し たイベントを実施する。	通年	県内	1名	イベント 参加者: 60名 その他:0名	0
その他事業・総務 部	事務局体制および雇用形態 の整備。	通年	県内	3名	ボランティア参加者:2 0名 その他: 不特定多数	560

特定非営利活動に係る事業活動計算書

特定非営利活動法人 五環生活

[税込] (単位: 円)

全事業所

自 平成31年 1月 1日 至 令和元年12月31日

《経常収支の部》

[経常収支の部]

【経常収入】

事業収入 (非課税)	405,600	
事業収入 (課税対象)	21,056,499	
委託金収入	12,649,821	
正会員会費収入	45,000	
補助金収入	1,739,000	
諸謝金収入	155,300	
雑収入	132,732	
受取利息収入	51	
経常収入 計		36,184,003

【事業費】

期首棚卸高	176,711	
期首商品・製品棚卸高 計	176,711	
外注費	5,920,794	
諸謝金 (事業)	8,392,775	
通信費 (事業)	401,812	
荷造運賃 (事業)	274,199	
旅費交通費 (事業)	1,595,768	
広告宣伝費 (事業)	628,024	
備品消耗品費 (事業)	3,688,488	
新聞図書費 (事業)	31,395	
印刷経費 (事業)	676,571	
修繕費 (事業)	75,244	
車両維持費 (事業)	108,411	
保険料 (事業)	247,110	
租税公課 (事業)	442,300	
貸借料 (事業)	56,286	
支払手数料 (事業)	22,784	
給料手当	9,766,406	
法定福利費	1,679,282	
雑費 (事業)	1,354,536	
当期事業費 計		35,362,185
合計	35,538,896	
期末棚卸高	△ 198,673	
期末商品・製品棚卸高 計	△ 198,673	
事業費 計		35,340,223

【管理費】

給料手当	1,031,400	
福利厚生費	7,038	
通信費	43,218	
水道光熱費	28,329	
修繕費	49,720	
地代家賃	531,600	
保険料	21,370	
租税公課	36,100	
諸会費	69,000	
支払手数料	2,600	
支払利息	11,673	
雑費	4,320	
管理費 計		1,836,368
経常収支差額		△ 992,588

当期正味財産増加額	△ 992,588
前期繰越正味財産額	2,609,392
当期正味財産合計	1,616,804

特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

特定非営利活動法人 五環生活
全事業所

[税込] (単位:円)
令和元年12月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	2,116,936
現 金	847,716	前 受 金	3,536,415
ゆうちょ口座	48,618	納税充当金	281,111
普通預金りそな	78,888	流動負債 計	5,934,462
普通 預金(彦根支店)	2,367,603	【固定負債】	
現金・預金 計	3,342,825	長期借入金	400,000
(売上債権)		固定負債 計	400,000
未 収 金	4,394,893	負債の部合計	6,334,462
売上債権 計	4,394,893	正 味 財 産 の 部	
(棚卸資産)		【正味財産】	
棚卸 資産	198,673	正味 財産	1,616,804
棚卸資産 計	198,673	(うち当期正味財産増加額)	△ 992,588
(その他流動資産)		正味財産 計	1,616,804
前払 費用	14,875	正味財産の部合計	1,616,804
その他流動資産 計	14,875		
流動資産合計	7,951,266		

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

特定非営利活動法人 五環生活

[税込] (単位: 円)

全事業所

令和元年12月31日 現在

《資産の部》		
【流動資産】		
(現金・預金)		
現金	847,716	
ゆうちょ口座	48,618	
普通預金りそな	78,888	
普通預金(彦根支店)	2,367,603	
現金・預金計	3,342,825	
(売上債権)		
未収金	4,394,893	
売上債権計	4,394,893	
(棚卸資産)		
棚卸資産	198,673	
棚卸資産計	198,673	
(その他流動資産)		
前払費用	14,875	
その他流動資産計	14,875	
流動資産合計		7,951,266
資産の部合計		7,951,266
《負債の部》		
【流動負債】		
未払金	2,116,936	
前受金	3,536,415	
納税充当金	281,111	
スタッフ源泉所得税	(67,437)	
外部源泉所得税	(213,674)	
流動負債計		5,934,462
【固定負債】		
長期借入金	400,000	
固定負債計	400,000	
負債の部合計		6,334,462
正味財産		1,616,804